

動物実験に関する自己点検・評価報告書

関西医科大学

令和元年12月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果 <ul style="list-style-type: none"> ■ 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 □ 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 □ 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 関西医科大学動物実験規程（平成27年7月14日施行） 関西医科大学附属生命医学研究所実験動物飼育共同施設飼育管理および利用規約（平成30年1月1日施行） 施設管理者・実験動物管理者・動物実験管理委員会・動物実験共同委員会・動物実験委員会の組織図（平成27年7月）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 期間内規程が適正に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない

2. 動物実験委員会

1) 評価結果 <ul style="list-style-type: none"> ■ 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 □ 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 □ 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検の対象とした資料 関西医科大学動物実験委員会規程（平成30年3月6日施行） 関西医科大学動物実験委員会名簿
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 動物実験委員会が適正に運営されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

3. 動物実験の実施体制

1) 評価結果 <ul style="list-style-type: none"> ■ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 □ 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 □ 動物実験の実施体制が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 関西医科大学動物実験委員会規程（平成30年3月6日施行） 関西医科大学動物実験規程（平成27年7月14日施行） 動物実験計画書の様式

実験結果報告書の様式
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が適正に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められていない。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 関西医科大学動物実験規程（平成27年7月14日施行） 関西医科大学動物実験委員会規程（平成30年3月6日施行） 関西医科大学附属生命医学研究所実験動物飼育共同施設飼育管理および利用規約（平成30年1月1日施行） 関西医科大学遺伝子組換え実験安全管理規程（平成29年7月11日施行） 関西医科大学附属生命医学研究所アイソトープ実験施設管理運営規程（平成29年1月10日施行） 動物用医薬品指示書および許可記録 感染動物飼育申込書 マイコプラズマ検査依頼書・結果報告書 飼養保管施設の申請書および許可、動物実験室の申請書および許可
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が適正に定められている。 共同研究施設および講座内動物実験室の設置申請、動物実験委員会委員長・遺伝子組換え実験委員会安全主任・実験動物管理者による視察および改善要求、許可、定期的巡視による安全管理が行われている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 関西医科大学動物実験規程（平成27年7月14日施行）

<p>関西医科大学附属生命医学研究所実験動物飼育共同施設管理運営規程（平成29年1月10日施行） 関西医科大学附属生命医学研究所実験動物飼育共同施設飼育管理および利用規約（平成30年1月1日施行） 飼育管理記録および業務日報（施設管理、飼育管理） 死亡管理表</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 飼養保管の体制については、関西医科大学動物実験規程・関西医科大学附属生命医学研究所実験動物飼育共同施設飼育管理および利用規約を中心に、詳細にわたり規定されている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。</p>

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

該当しない。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

1) 評価結果 <ul style="list-style-type: none"> ■ 基本指針に適合し、適正に機能している。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 関西医科大学動物実験委員会規程（平成30年3月6日施行） 動物実験計画書、審査表 動物実験履行（中間）結果報告書 関西医科大学動物実験委員会 開催記録（会議及び通信審議）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 動物実験委員会規程に基づき、委員5名（教授4名、准教授1名）による審査を適正に実施している。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない

2. 動物実験の実施状況

1) 評価結果 <ul style="list-style-type: none"> ■ 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 各講座・部門から提出された動物実験計画書 審査記録 動物実験履行（中間）結果報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告（提出率100%）が適正に実施されている。

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

1) 評価結果 <ul style="list-style-type: none">■ 基本指針に適合し、当該実験が適正に実施されている。□ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。□ 多くの改善すべき問題がある。□ 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 動物実験計画書 動物実験履行(中間)結果報告書 関西医科大学遺伝子組換え実験安全管理規程(平成29年7月11日施行) 関西医科大学附属生命医学研究所アイソトープ実験施設管理運営規程(平成29年1月10日施行)
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。) 動物実験計画書に、感染実験、遺伝子組み換え動物使用、放射線使用、化学発癌、重金属実験等の項目を掲げ、実験者に注意を喚起している。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない

4. 実験動物の飼養保管状況

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>関西医科大学動物実験委員会規程（平成30年3月6日施行） 関西医科大学動物実験規程（平成27年7月14日施行） 関西医科大学附属生命医学研究所実験動物飼育共同施設飼育管理および利用規約（平成30年1月1日施行）</p> <p>飼育動物種ごとの飼育頭数、入手先一覧、 事故報告（逃走など） 微生物モニタリング成績、検疫記録、感染症発生記録 病原微生物定期検査記録</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>関西医科大学附属生命医学研究所実験動物飼育共同施設飼育管理および利用規約により、飼養保管の管理体制が詳細に定められている、定期的な微生物モニタリングが行われている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当しない。</p>

5. 施設等の維持管理の状況

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>関西医科大学実験動物飼育共同飼育管理運営規程（平成29年1月10日施行） 関西医科大学実験動物飼育共同施設館内図 保守点検記録（高圧蒸気滅菌装置等） 空調管理記録 廃棄物処理記録</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>関西医科大学附属生命医学研究所実験動物飼育共同施設飼育管理および利用規約による施設等の管理運営が適切に行われている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当しない。</p>

6. 教育訓練の実施状況

1) 評価結果 <ul style="list-style-type: none">■ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。□ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。□ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 講習会実施記録 実験動物飼育共同施設利用者講習会修了報告書 動物実験講習会確認テスト RI講習会資料
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 毎年大学院総合講義（4月）を実施、その後追加講習会およびテストを実施し許可されたものは5年間有効の受講登録番号を取得する。30年度実績は延べ94名受講（4月講習会時受講者数56人、4月講習会以降動画受講者数38人）であった。 各講座および分門の利用代表者または教育担当者実地訓練を計画し、平成29年度から実施している。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 評価結果 ■ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 本学ホームページ
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 自己点検・評価結果を本報告書にとりまとめ、ホームページに公開している。 外部検証評価を受け、評価報告書をホームページに公開している。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

平成30年度	平成31年3月現在				
・動物実験審査件数	120件				
・審査後承認件数	120件				
・施設情報	実験動物飼育共同施設（1施設）				
・飼養状況					
動物種	マウス	ラット	ウサギ	サル	モルモット
使用数	18,815	770	60	18	27
飼養数*	6,313	56	8	15	14
*令和元年11月現在					
令和元年度11月時点の委員：木梨教授（分子遺伝学部門）、中村教授（生理学講座）、中邨教授（薬理学講座）、上野教授（実験病理学講座）、松田准教授（生体情報部門）					